

# 2025年 引き継ごう 戦争の記憶 平和な未来のために 平和をねがう写真展 高校生が描いた原爆の絵 ほか

広島・長崎に原爆が投下されてから80年になります。昨年12月には、日本原水爆被害者団体協議会（日本被団協）がノーベル平和賞を受賞し、世界中から賞賛の声が届きました。

広島市立基町高校の生徒が「あの日」の記憶を絵画として後世に残したいと制作に取り組んでいます。証言者の被爆体験を聴き、想像を絶する光景をどう描くのか悩みながらも、資料を集め、証言者と何度も打ち合わせを行い、半年から1年かけて「原爆の絵」を描きあげました。

今年もこの「高校生が描いた原爆の絵」を展示します。他にも広島・長崎に投下された原爆や戦争に関する写真等も展示します。これまでにこの平和写真展は小中学生から大人まで観ていただき、多くの方々から感想も寄せられました。

今年はさらに、福島原発事故から14年たった現在の被災地を見てきましたので、その時の画像なども展示する予定です。

いま世界では、戦争による悲惨な状況が続いています。平和の尊さについて考え、話し合える機会になることを願っています。



広島市立基町高等学校普通科創造表現コースの活動より

期間 8月4日（月）～8月15日（金）

8:30～17:15

\*8月11日の山の日振替日、土、日は休み  
8月15日は午後3時まで

会場 常陸大宮市役所 1階  
エントランスホール

主催 おおみや平和の会 新日本婦人の会常陸大宮支部  
問合せ先：57-6582（相沢）57-6328（金子）  
後援 常陸大宮市 常陸大宮市教育委員会



次世代と描く原爆の絵  
（広島・基町高校）